

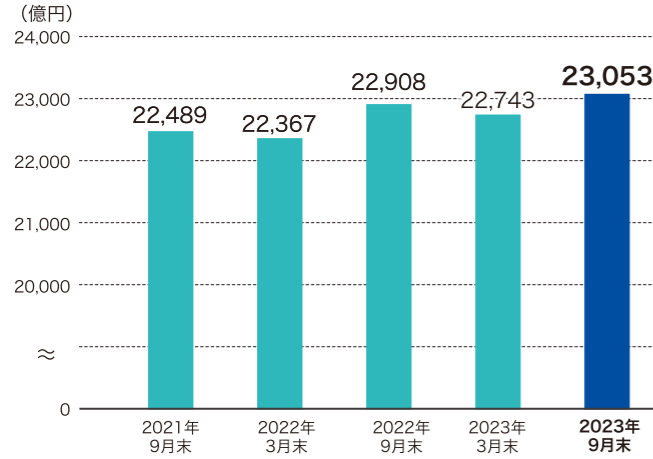
Disclosure 2023

半期ディスクロージャー
2023年4月1日～2023年9月30日

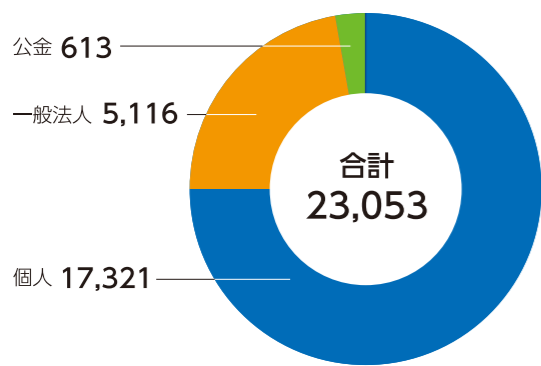
当金庫の2023年度上半期の業況をお知らせいたします。

預金積金

預金積金残高は普通預金などの増加により、前期末比309億円増加の2兆3,053億円となりました。

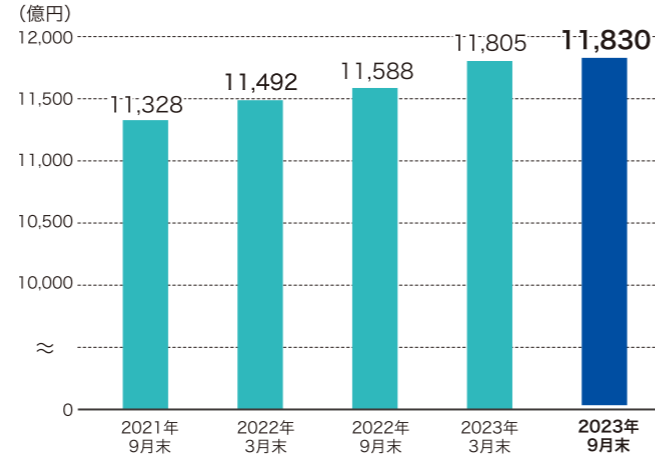


■預金者別内訳 (単位:億円)

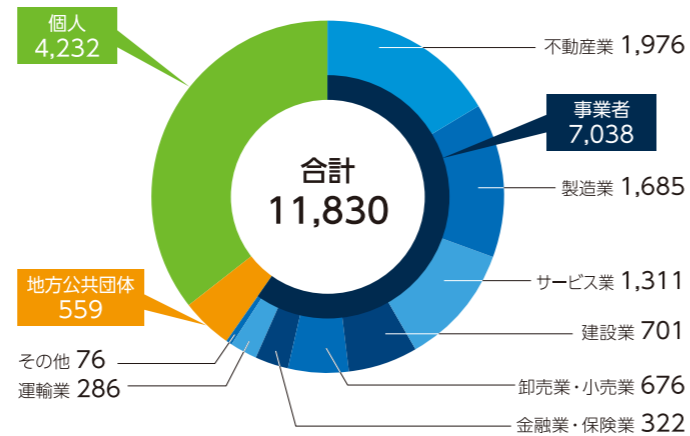


貸出金

貸出金残高は住宅ローンを中心に増加し、前期末比24億円増加の1兆1,830億円となりました。

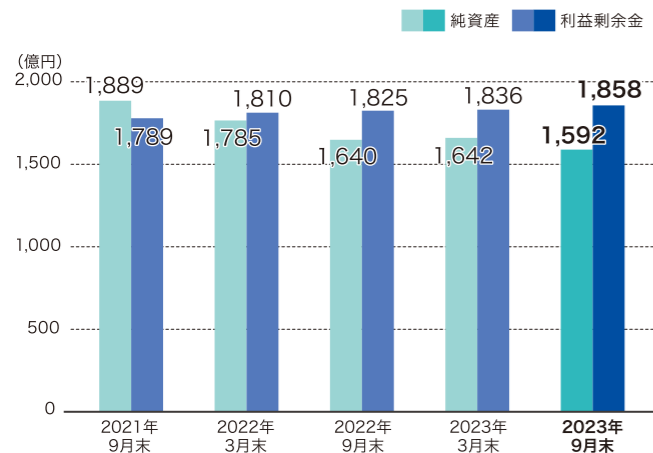


■業種別貸出金残高 (単位:億円)



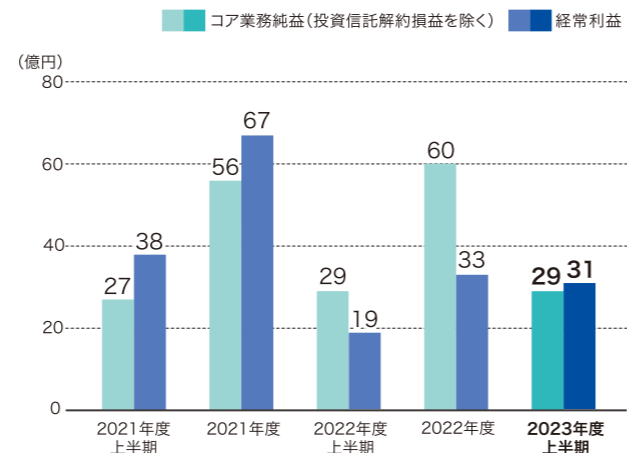
純資産

純資産は、国内外の金利上昇などに伴うその他有価証券評価差額金の減少により、前期末比49億円減少の1,592億円となりましたが、利益剰余金は、前期末比22億円増加の1,858億円と、着実に増加しました。



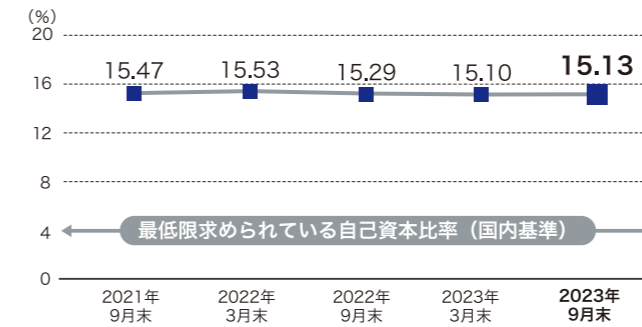
コア業務純益 経常利益

コア業務純益(投資信託解約損益を除く)は、経費の削減などにより、前年同期比67百万円増加の29億円となりました。経常利益は、国債等債券関係損益の増加などにより、前年同期比12億円増加の31億円となりました。



自己資本比率

金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率は、利益計上による自己資本の増加により、前期末比0.03ポイント上昇の15.13%となりました。

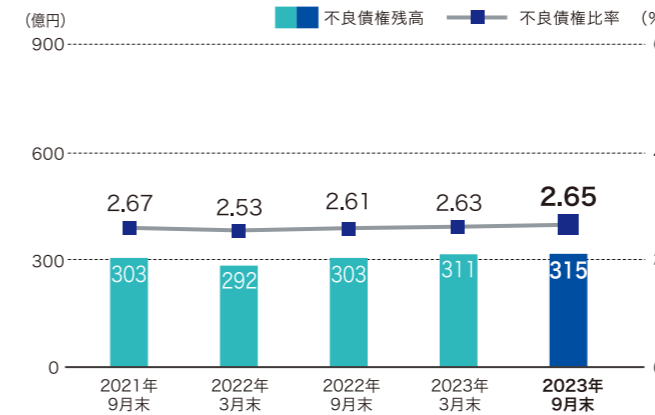


(参考)自己資本比率=自己資本額÷リスクアセット

不良債権の状況

「事業再生・経営支援活動」を主体に、地域経済への影響を十分に考慮しつつ減少に努めましたが、金融再生法ベースの不良債権残高は前期末比3億円増加の315億円、不良債権率は前期末比0.02ポイント上昇の2.65%となりました。

不良債権の91.3%が担保や保証、貸倒引当金でカバーされております。



※不良債権比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

損益の状況

金融政策変更に伴う国内金利上昇などを想定しリスクを抑制した有価証券等の運用を行った結果、金庫の基本的業務に係る利益である業務純益は、前年同期比28億円増加の2,599億円となりました。

(単位:百万円)

	2022年度上半期	2023年度上半期	増減
業務粗利益	7,353	10,010	2,656
資金利益	8,847	9,057	210
役員取引等利益	910	885	△25
その他業務利益	△2,403	67	2,471
国債等債券関係損益	△2,425	37	2,462
経費	7,652	7,410	△241
人件費	5,071	4,797	△274
物件費	2,283	2,289	5
一般貸倒引当金繰入額	-	-	-
業務純益(※1)	△298	2,599	2,898
臨時損益	2,203	507	△1,695
不良債権処理損益	282	△50	△332
株式等関係損益	1,829	473	△1,356
経常利益	1,903	3,106	1,202
特別損益	△2	△3	△1
当期純利益	1,478	2,256	777

実質業務純益(※2)	△298	2,599	2,898
コア業務純益(※3)	2,126	2,562	435
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	2,930	2,998	67

※1 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。
 ※2 実質業務純益とは、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
 ※3 コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因(一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益)を除いたものです。

当金庫の概要(2023年9月末現在)

創設	昭和25年10月25日
総資産	2兆4,929億円
預金	2兆3,053億円
貸出	1兆1,830億円
出資	12億13百万円
自己資本比率	15.13%(単体)
店舗数	78店舗(うち出張所1カ所、インターネット支店1店舗)
駐在員事務所	1カ所(バンコク)
店舗外ATMコーナー	55カ所(共同ATMコーナー含む)
役員数	1,258人
本店所在地	安城市御幸本町15番1号

基本方針

中小企業並びに国民大衆の地域金融機関として地域経済振興のため貢献する。

JCR格付

A+
令和4年12月取得

へきしんは、(株)日本格付研究所(JCR)より、長期発行体格付として、18年連続で「A+」の評価を得ています。

※へきしんの「格付事由」については、JCRホームページ(<https://www.jcr.co.jp>)をご覧ください。

■本資料に掲載している計数は、特に表示のない限り、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。
 ■本資料に掲載している計数については、会計監査人の監査を受けていません。

トピックス (2023年4月1日～9月30日)

南山大学とデータサイエンス分野における 産学連携協力に関する覚書を締結

データサイエンスを活用した地域社会の発展貢献を目的として、7月14日に南山大学と産学連携協力に関する覚書を締結しました。

連携を通じ、お客さまの課題解決やDXの推進に取り組んでまいります。



名古屋商工会議所との連携による 「パートナー発掘商談会」を開催

9月13日と14日の2日間、御園支店を会場に名古屋商工会議所との連携による商談会を開催しました。名古屋市内に拠点を置くスーパーや商社、メーカー等の発注企業10社に対し、70社(商談数94件)が参加しました。

当金庫は、商談会等の開催を通じて、お客さまの新たなビジネス展開を応援してまいります。



へきしん年金友の会会員さま向けセミナー 「落語で学ぶ相続・終活」を開催

どこの家庭でも起こりうる相続問題。相続相談実績を多数もつ行政書士が、相続・終活にまつわる諸問題を落語風におもしろく解説するセミナーを8月17日に開催しました。多数のお客さまに楽しみながら学んでいただきました。



経済産業省「DX認定事業者」の認定取得

DX認定制度とは、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、国がDX推進の準備が整っている事業者を「DX認定事業者」として認定する制度で、当金庫は愛知県内の信用金庫で初めて認定されました。引き続きDXの推進に対して積極的に取り組んでまいります。

当金庫のDXの取り組みはこちらから



<https://www.hekishin.jp/torikumi/dx.php>



「中部まるごとスタートアップまつり」を3行庫で共催

スタートアップの成長と地元企業の課題解決を支援するため、5月30日に当金庫と三菱UFJ銀行、名古屋銀行が業態の枠を超えて初のイベントを開催しました。会場参加とWeb参加のハイブリッド形式にて行い、幅広い企業が参加しました。



安城市内4店舗で「スマホ体験教室」を開催

9月4日・22日の2日間、安城市内の4店舗において「スマホ体験教室」を開催しました。地域の方50名が参加し、スマートフォンをより便利に使っていただけるよう、地図やカメラなどの機能をご紹介します。体験していただきました。今後も地域を拡大し開催してまいります。



「プラチナくるみんプラス認定」を取得

育児と仕事の両立支援のほか不妊治療をサポートする企業として、6月12日に厚生労働大臣より、愛知県内の企業で初めて「プラチナくるみんプラス認定」を取得しました。



碧海信用金庫

愛知県安城市御幸本町15番1号

<https://www.hekishin.jp/>

「資料編」のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、「資料編」を作成しています。「資料編」は当金庫ホームページに掲載しています。

<https://www.hekishin.jp/about/disclosure/shihanki.php>

